

## 令和元年度事業計画

### I. 基本計画

公益社団法人角田市シルバー人材センター（以下「センター」という。）は、地域の多様な仕事を受託し、会員に就業機会を提供して、生きいきとした活力を生み出すことで地域貢献を果たしてきた。

定年退職等により第一線を退いた市民がセンターを通じて臨時的、短期的に企業や一般家庭などから市内の仕事を担い、その就業を通じ生きがいの充実と社会参加を進め、各種団体や企業等と連携し多様な活動を担い、その活力を地域に活かしていくものである。

会員拡大は、ハローワーク大河原や地域との連携による迅速な会員登録を推進し地域社会の要請に積極的に応えるため、人材の確保を進め充実した組織づくりに努める。

センターでは、60才以上の市民が4割を超えたなか健康で働く意欲のある市民に会員登録を促し、元気な高齢者が支援を必要とする高齢者を支え、その仕事を担うことで若年層の負担を軽減し地域社会の担い手となり、会員と地域が連携し地域力を高めていくものである。

受託事業の新たな就業機会としては、道の駅かくだの周辺関連業務への就業や派遣事業の業務拡大を推進していく。

また、介護予防・日常生支援総合事業については、角田市から委託されている「脳いきいき健康楽習教室」や「街なか交流サロンひだまり」に加え、新たに「生活支援サービス」を担うことで地域住民の福祉の向上と就業機会の開拓を図るものとする。

### II. 具体目標

i 受託事業	(令和元年度目標)	(平成30年度目標)
件数	2,400件	2,500件
就業延べ人数	34,000人日	35,000人日
契約金額	170,000千円	183,000千円
ii 労働者派遣事業		
件数	120件	80件
就業延べ人数	10,000人日	6,000人日
契約金額	60,000千円	40,000千円
iii 会員数・就業率		
会員数	480人	460人
就業率	95%	95%

### Ⅲ. 基盤拡大事業

#### 1 受託事業

- 事業計画の具体目標に向けて、役職員及び会員がそれぞれの役割に応じて、就業先の拡大および開拓に努める。

また、受託内容を確認し、関係者と連絡調整を図り速やかに対応し、お客様の満足度を高める。就業先でのクレームについては、関係者と連絡調整を図り速やかに対応する。

#### 2 派遣事業

- 派遣就業は、安全等の教育訓練や有給休暇の適正な管理を図る。

また、衛生委員会にて、衛生管理者・産業医等を配置し毎月1回開催する。

派遣会員については、センターが定める「健康診断自己チェックリスト」の提出を促す。

さらに、自動車運転業務に携わる会員には、「交通安全講習の受講義務付け」と「交差点・安全運転度診断」や「運転前の健康チェック」、「認知機能の検査」の提出を求め安全意識の高揚を図る。

#### 3 地域班・職域班の推進

- 会員の自主的・自立的な組織活動に積極的な参加を促す。
  - ・ 地域班活動の充実（班会議の定例化・ボランティア活動等での連携強化）
  - ・ 職域班の定期的な研修

#### 4 普及啓発活動の推進

- 事業拡大・就業拡大を図るための普及啓発活動を積極的に展開する。
  - ・ 「広報かくだ（角田市）」・「河北あんふいに（河北新報目黒新聞店）」にシルバー事業内容の説明や新規会員募集記事の掲載
  - ・ 「シルバー紹介冊子」を発行し事業内容や会員就業先の紹介を掲載
  - ・ シルバー事業内容の紹介記事や会員募集を掲載したパンフレットを配布

#### 5 安全就業の徹底

- 安全管理委員会において「安全は全てに優先する」という意識を持ち、就業中や就業途上の安全対策を図る。草刈り班・剪定班については事故が発生すれば重篤事故に結びつきやすいので「安全就業マニュアル」、「ヒヤリハット表」を活用し安全就業に対する意識を高める。
  - ・ 安全祈願祭の実施（7月8日）
  - ・ 安全就業強化月間の制定（7月）
  - ・ 安全パトロールの実施（7月・毎水曜日：8月～11月・第1水曜日）

- ・草刈り班は部外講師による安全就業研修および機械点検の実施
- ・剪定班は安全就業研修および機械点検の実施
- ・高齢者交通安全大会の実施（角田警察署および角田自動車学校との連携）

## 6 就業機会の確保

- 会員へ就業の機会の確保を図る。
  - ・未就業会員への呼びかけ。地区班長・世話人を通じての就業機会の相談
  - ・会員就業時の現場や企業への訪問挨拶
  - ・企業訪問を行い就業の拡大を図る

## 7 福祉・家事援助の充実

- 超高齢化社会に対応すべく事業の充実を図る。
  - ・角田市委託事業の軽度生活支援事業や家事援助サービスを推進する。
  - ・介護施設補助員など、派遣事業の充実を図る。
  - ・事業に携わる会員の資質向上を図るため個人情報の保護や守秘義務に関する講座を企画実施する。

## 8 調査研究活動

- サービス利用者及び企業に対して、会員の就業状況や接遇対応に関するアンケートの実施
  - ・就業に対する発注者満足度アンケート調査
  - ・会員の就業に関するアンケート調査

## 9 技能訓練研修の実施

- 会員の就業開拓を図るため技能や技術の向上を図る。
  - ・剪定班 植木剪定初級コース講習会の実施（剪定班会員講師）
  - ・草刈り班 草刈り機械の取扱い講習会の実施（宮城ヤンマー商会）
  - ・自動車運転 実車訓練および運転適性検査の実施（角田自動車学校）

## 10 地域ボランティア事業及び活動

- ボランティア活動を通じて、地域社会と会員相互の連携を図る。
  - ・角田市内各地区拠点施設の除草清掃作業（7月20日（土））
  - ・阿武隈リバーサイドマラソンコース除草清掃作業（10月19日（土））
  - ・市内各所における昔遊びの伝承
  - ・角田市保健福祉まつりへの参加（10月20日（日））

## 1.1 会員の福利厚生

- 会員親睦旅行委員会を立ち上げ、会員親睦旅行を実施し、会員相互の親睦・融和・協調を図る。

## IV. 角田市委託事業（介護予防・日常生活支援総合事業）

### 1 街なか交流サロン「ひだまり」

- 街なか交流サロン「ひだまり」は開設5周年を迎える。年間延べ利用者数7,500人日を数え盛況のうちに運営されている。  
平成31年度は、従来の会員による管理に加え、市内の各団体との連携を図りそれぞれの企画に協力を促しさらなる充実を図る。
  - ・夏まつり（8月14日（水））
  - ・牟宇姫ひな祭り
  - ・いきいき百歳体操については、医療法人本多友愛会と連携協定を結び理学療法士・作業療法士を迎え、利用者の満足度を高める。

### 2 いきいき百歳体操・脳いきいき健康楽習教室

- 脳いきいき健康楽習教室は、公文教育研究会と連携を図り、川島隆太先生の教材を活用し利用者の満足度を高める。脳いきいき楽習教室の合間にいきいき百歳体操を実施することで心身の健康と脳の健康維持効果を高める。

### 3 生活支援訪問サービス

- 生活援助サービスを必要とする方々へ生活支援サービスを提供し、地域住民の福祉の向上を図る。

## V. 厚生労働省委託事業

### 1 きらりシルバー応援事業

- 平成30年度から3年計画で「きらり輝け！GoかくだCity「今を生きる力を活かし地域創生」フレッシュ777（スリーセブン）作戦」を実施する。  
この事業では、地域の健康で働く意欲のある方々に会員登録を促し、会員が連携しその力を活かすことで地域力を高めて行こうとするものである。シルバー世代の力を活かし、各地区や企業の人手不足解消を図り活力ある地域づくりを進めることを目的とする。
  - 1) 運営委員会及び実施部隊を継続し設置（組織や会員と連携し事業推進）
  - 2) クイック会員登録（理事長決済会員登録、随時入会説明の推進）
  - 3) イメージアップ作戦（小学生等への事業の普及啓発）
  - 4) 人手不足担い手育成（介護職員初任者研修の開講）
  - 5) 年齢を重ねても就業できる場の開拓